学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成３１年２月１２日（火）発行　№４０　文責　塩川小学校長　佐藤　寅記

「あ・は・も」の「あいさつ」を考える！

全校で「あいさつ」について考える

全校集会で、第２回となる「あいさつ」をテーマにした作文発表がありました。今回は、下学年の３名の発表でした。以下は、発表内容のキーセンテンスです。

○　これからも、見まもりたいのおばさんにかんしゃしながら、そのかんしゃをあいさつにこめて、あんぜんにとう下校していきます。
（１年　A.Mさん）

○　あいさつとは、みんなをうれしく、楽しくするじゅもんです。そんなあいさつをこれからもつづけていきたいです。（２年　S.Aさん）

○　朝、わたしが笑顔で大きな声であいさつすると、みんなも『おはようございます』と返してくれます。私は、それがすごくうれしいです。「あいさつの『わ』」がどんどん広がって、みんながしぜんに笑顔になるのがうれしいです。（３年　O.Eさん）

進んであいさつする子どもに高めるには、あいさつの持つ意味や目的を知ることが大切です。その意味や目的が心に内在化されれば、子どもは進んであいさつするようになります。「明るく元気にあいさつしなさい」などと言わなくても、自分から明るくあいさつするようになります。

「感謝の気持ちをあいさつに込めて」「うれしく楽しくするじゅ文」「みんなが笑顔」ということばは、あいさつの意味や目的について書かれたものです。その大切さが全校生にも伝わり、一人一人に大きな拍手が送られました。

あいさつについて考えたり、あいさつのよさを話し合ったりして、あいさつが自慢の塩川小学校に高まってまいります。

登校班の再編成を行いました。～安全な登校～

新班長を先頭に安全に登校

一つの班の人数が増え、列が長くなることや出発時間の遅れから安全な登校に支障が出るため、１４区地区委員様が中心となり、班の再編成と新たな集合場所の設置を行いました　。
今日が、新しい班になって初めての登校でしたが、どの班もこれまでより10～15 分早く、安全に登校できました。

つめたいことばとあたたかいことば！

どんな気持ちになったか伝え合う

２年生は、「温かい言葉と冷たい言葉」の理解を深め、お互いが気持ちよくすごせるように「温かい言葉」を使えるように学ぶ、ソーシャルスキルトレーニングの授業を行いました。

子ども達は、温かい言葉や冷たい言葉を使ってロールプレイ（役割演技）をし、そこで感じたことを伝え合い、温かい言葉の持つ価値を理解していました。そして、「温かい言葉」をつかって生活していこうという気持ちを高めました。

この授業後は、温かい言葉がつかえたか、つかってみて（言われてみて）どんな気持ちになったかを、帰りの会で振り返っていきます。

ちょっといい話 No.35

３年生によるお掃除ボランティアが続いています。続いている理由は、「学校をきれいにしたいから」と言っています。

先日も黙々とボランティアに取り組む姿がありました。ちりとりを見ると、たくさんの綿ゴミでいっぱいでした。私は、その量に驚いてしまいました。「きれいにしたい」という目的を果たしていて、決して形だけのものではないことがわかりました。

この子ども達には、お掃除の意味や目的が内在化されてるのだなあ、と感心させられました。

たくさんのごみを集めました。